

第25回とさ・子ども主体の学校生活づくりを考える会（通称りぐる会）

テーマ ～豊かに生きよう～今を 明日を 将来を～ 報告

令和8年2月14日（土）、本会は、中種の「葉山」で開催されました。

- 出席者は22名です。内訳は特別支援学校9名、特別支援学級7名、通級指導教室1名、市職員2名、事務局等3名でした。なおこの中には、高知市外の特別支援学級の先生と小学校の教頭先生も含まれています。
- 話題提供は、近年全特連等雑誌に執筆していただいた次の4名の方からでした。
 - 朝倉小学校の 齋藤 望 先生 から「幅広滑り台を作って遊ぶ」。遊び場は子どもたちと一緒に大好きなキャラクターに合わせて色を塗ったり、装飾したり。人とのかわりが広がり、思う存分遊ぶことができました。
 - 昭和小学校の 井上 翔平 先生 から「千日紅を使って交流及び共同学習」。学級園で育てた千日紅を使った活動及び子どもたちの作品を持参して紹介し、単元終盤「3年生との交流及び共同学習」の取組の説明がありました。
 - 朝倉第二小学校の 坂下 あき 先生から「身近な防災活動」実践の紹介がありました。段ボールオープンやポリ袋調理、防災ポーチ・防災お菓子ポシェット等、保護者も参加しての授業も行い、防災を少しでも身近なものになるように取り組みました。
 - 城西中学校の 下元 美樹 先生 から「中学校連合による校外合同販売会」です。ほぼ毎日作業学習を展開し、続けることで製品の完成度が上がり、任せきれるほどに成長する生徒たちの姿。また、回を重ねるごとに地域の商店街の温かさも伝わってくる発表でした。
- 事務局より
本年度、生活中心教育研究会の全国大会は2月21日に千葉で開催され、高知から5名が参加します。同会は、来年度は高知で開催予定です。同時期になるのではと思います。夏頃にはみなさんに詳しくご報告しますし、ご協力をよろしくお願い致します。
- 「懇親会（お客）」では、あちこちに小さな輪がいくつもでき、食べて、飲んで、仲間とつながる喜び、一年間の活動・これからのことの話もワイワイとし、夜もふけていきました。
次回は、令和8年8月ごろを予定しています。

りぐる会 八葉

- 一 子ども主体
- 二 続ける
- 三 実践をベースに高め合う
- 四 柔軟な対応
- 五 仲間を増やす
- 六 あせらず じわじわと
- 七 功を求めず
- 八 本音で語ろう

令和8年2月 りぐる会事務局



* 「りぐる」とは 土佐弁で ①いつもよりがんばる 念入りに ②筋を通して、軸をぶらさない です。文：事務局